



# 社会福祉法人 陶技学園

陶芸の森  
社会福祉法人 陶技学園五十周年記念  
多治見陶都ライオンズクラブ二十周年記念  
平成二十三年十一月吉日

社会福祉法人 陶技学園  
所在地: 〒507-0061  
岐阜県多治見市姫町2丁目2番地  
TEL 0572-29-1400 FAX 0572-29-1388  
<http://tougil.ec-net.jp/index.html>

障害者支援施設 第一陶技学園  
所在地: 〒507-0061  
岐阜県多治見市姫町2丁目2番地  
TEL 0572-29-2039 FAX 0572-29-1388  
<http://tougil.ec-net.jp/tougi01/tougi01.html>

障害者支援施設 第二陶技学園  
所在地: 〒507-0061  
岐阜県多治見市姫町2丁目2番地  
TEL 0572-29-2411 FAX 0572-29-2285  
<http://tougil2.ec-net.jp/index.html>

障害者支援施設 陶技学園みずなみ荘  
所在地: 〒509-6102  
岐阜県瑞浪市稲津町萩原字大久手1660番地182  
TEL 0572-67-2067 FAX 0572-67-2087  
<http://tougil3.ec-net.jp/index.html>

共同生活援助 あじさいホーム  
所在地: 〒507-0061  
岐阜県多治見市姫町3丁目61番地の10  
TEL 0572-27-2789

共同生活援助 姫ホーム  
所在地: 〒507-0061  
岐阜県多治見市旭ヶ丘町7丁目16番地55  
TEL 0572-27-8405 FAX 0572-27-6121

共同生活援助 旭ヶ丘ホーム  
所在地: 〒507-0071  
岐阜県多治見市旭ヶ丘町7丁目16番地55  
TEL 0572-27-8022 FAX 0572-27-8022

東濃障がい者総合支援センター とうぎ  
<http://tougil2.ec-net.jp/tougi/tougiindex.html>  
東濃障がい者就業・生活支援センター サテライト  
所在地: 〒507-0073  
岐阜県多治見市小泉町2丁目93ルミナス小泉102  
TEL 0572-26-9721 FAX 0572-26-9722

陶技学園 相談支援センター  
所在地: 〒507-0073  
岐阜県多治見市小泉町2丁目93ルミナス小泉105  
TEL 0572-26-7551

居宅支援センター とうぎ  
所在地: 〒507-0061  
岐阜県多治見市姫町2丁目2番地  
TEL 0572-29-5421 FAX 0572-29-5426

学園の沿革

昭和35年	9月27日	財団法人陶技学園設立認可
昭和37年	4月 1日	陶技学園 事業開始 定員100名
昭和37年	5月 5日	陶技学園 開園式挙行
昭和40年	9月19日	皇太子殿下の行啓を仰ぐ
昭和41年	3月30日	社会福祉法人第二陶技学園設立認可
昭和41年	4月 1日	第二陶技学園 開園式挙行 事業開始 定員30名
昭和42年	4月29日	第二陶技学園 事業御奨励の恩召しをもって天皇陛下より金一封御下賜
昭和43年	4月 1日	第二陶技学園 第二次整備拡張事業完成 第二陶技学園 定員60名に変更
昭和46年	1月 1日	第二陶技学園 第三次整備拡充事業完成 第二陶技学園 定員80名に変更
昭和46年	4月29日	第二陶技学園 事業御奨励の恩召しをもって天皇陛下より金一封御下賜
昭和47年	4月 1日	第一陶技学園 定員（暫定）80名に変更 第二陶技学園 定員100名に変更
昭和48年	4月29日	陶技学園 事業御奨励の恩召しをもって天皇陛下より金一封御下賜
昭和51年	4月 1日	財団法人陶技学園が社会福祉法人第二陶技学園と合併し、 社会福祉法人陶技学園と名称変更 陶技学園 定員100名に変更
昭和55年	3月20日	陶技学園通勤寮 建築事業完工
昭和55年	4月 1日	陶技学園通勤寮 事業開始 定員20名
昭和58年	2月25日	第二陶技学園 女子寮改築事業（花園寮）完工
昭和58年	4月 1日	第二陶技学園 定員110名に変更
昭和61年	3月19日	旭ヶ丘福祉ホーム 建築事業完工
昭和61年	4月 1日	旭ヶ丘福祉ホーム 事業開始 定員10名
平成 4年	12月25日	陶技学園 建築工事（全面改築）完工
平成 5年	4月 1日	陶技学園 児童施設から成人施設へ児者転換し更生施設第一陶技学園として事業開始 定員入所100名 通所8名
平成 5年	4月14日	創立30周年記念 第一陶技学園 開園式 竣工式挙行
平成 6年	3月31日	第一陶技学園作業棟建築工事完工
平成 6年	4月 1日	第一陶技学園 通所定員15名に変更
平成 8年	3月20日	仮称第三陶技学園（みずなみ荘）造成工事完工
平成 9年	4月 1日	第二陶技学園 定員70名に変更
平成 9年	4月 9日	陶技学園みずなみ荘 竣工、開園式挙行 陶技学園みずなみ荘 事業開始 定員50名
平成11年	2月28日	陶技学園みずなみ荘 増築事業完工
平成11年	4月 1日	第一陶技学園 デイサービス事業開始 第二陶技学園 定員50名に変更 陶技学園みずなみ荘 定員80名に変更
平成11年	4月14日	陶技学園みずなみ荘 竣工式挙行 第二陶技学園 花園寮改修工事完工
平成12年	3月15日	第二陶技学園 用地整備事業完工
平成13年	3月15日	第二陶技学園 改築事業建築工事完工
平成13年	4月 1日	第二陶技学園 改築事業竣工式挙行 第二陶技学園 定員55名に変更、自立棟の設置
平成13年	4月14日	第二陶技学園 改築事業竣工式挙行
平成14年	12月 6日	陶技学園通勤寮 整備拡張工事完工
平成14年	12月27日	陶技学園通勤寮 整備拡張事業 竣工式挙行
平成15年	4月 1日	第一陶技学園 デイサービス事業 定員15名に変更 第二陶技学園 定員60名に変更
平成16年	6月10日	旭ヶ丘福祉ホーム 建物改修工事完工
平成18年	10月 1日	旭ヶ丘福祉ホームを旭ヶ丘ホーム（共同生活援助）へ事業移行 定員 8名 陶技学園相談支援センター事業開始
平成20年	4月 1日	陶技学園みずなみ荘 新事業体系へ移行 旭ヶ丘ホーム定員 7名に変更
平成21年	2月12日	第三陶技学園月見棟改修工事完工
平成21年	4月 1日	第一陶技学園、第二陶技学園 新事業体系へ移行 東濃障がい者就業・生活支援センターサテライト t 事業開始
平成23年	10月 1日	東濃障がい者総合支援センターとうぎ 事業開始
平成24年	2月15日	あいさいホーム建築工事完工
平成24年	4月 1日	社会福祉法人陶技学園が創立50周年を迎える 共同生活とうぎ 事業開始
平成24年	6月 3日	創立50周年事業として、記念式典祝賀会挙行及び記念誌発行
平成25年	4月 1日	東濃障がい者総合支援センターとうぎ 居宅介護部 事業開始
平成26年	4月 1日	グループホーム一元化に伴いケアホーム姫を姫ホームに、旭ヶ丘ケアホームを旭ヶ丘ホームへ名称変更 居宅介護部を居宅支援センターとうぎへ名称変更し、住所を多治見市姫町2丁目2番地へ移動
平成27年	11月25日	第一陶技学園浴室新築改修工事完工
平成30年	4月 1日	公益的な取り組み開始 第一陶技学園 陶芸教室・陶技学園みずなみ荘 福祉相談室「きらくる」
平成31年	2月28日	陶技学園みずなみ荘 びょうぶ棟建築工事完工
平成31年	4月13日	陶技学園みずなみ荘 びょうぶ棟 竣工式挙行

# 陶技学園の歩み

この地方は古くから窯業原土に恵まれた日本有数の陶磁器の産地で、その生産工程には利用者に適した仕事も多く、その技術習得が就労にも好条件となることから、陶磁器産業を主とした職業指導施設が最適であるという考えに基づいて昭和37年に義務教育を終えた人を対象とした「陶技学園」が設立されました。その延長として昭和41年に成人更生施設「第二陶技学園」を設立し、さらに昭和55年「陶技学園通勤寮」、61年には「旭ヶ丘福祉ホーム」を建設して支援体制も整えながら、時代の変化や利用者の状況、ニーズの多様化に対応できるよう、作業の種類や生活内容にも変化を加えつつ進めてまいりました。

平成5年4月からは、児童施設「陶技学園」が全面的に改築されたのを機会に、成人更生施設「第一陶技学園」に変更改称し、さらに、平成9年4月には瑞浪市大久手の地に高齢者更生施設「陶技学園みずなみ荘」を創設し、平成12年度には第二陶技学園を改築いたしました。平成18年には旭ヶ丘福祉ホームは「旭ヶ丘ホーム（共同生活援助）」に事業移行し、同年「陶技学園相談支援センター」を開設しました。同センターは平成21年に事業を開始した「東濃障がい者就業・生活支援センター サテライト t」と共に、地域で暮らす障がいをお持ちの方への就業や生活支援、相談支援体制を整えてきました。なお平成20年には陶技学園みずなみ荘が自立支援法による新事業体系へ移行し、翌年には第一陶技学園、第二陶技学園も事業移行を行いました。また通勤寮、旭ヶ丘ホームは平成26年4月、グループホーム一元化に伴い「一体共同生活援助（介護サービス包括型）」として再編し、共同生活とうぎ(姫ホーム、旭ヶ丘ホーム、あじさいホーム)として新たな一歩を進めるに至りました。

ここに学園の由来や施設変遷の一部をご紹介します、皆様方の深いご理解と温かいご援助をいただきながら、学園のますますの発展を期して努力してまいります。